

テサロニケ人への第二の手紙

第一章 パウロとシルワノとテモテから、わ

たしたちの父なる神と主イエス・キリストとにあるテサロニケ人たちの教会へ。

父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

兄弟たちよ。わたしたちは、いつもあなたがたのことを神に感謝せずにはおられない。またそうするのが当然である。それは、あなたがたの信仰が大いに成長し、あなたがたひとりびとりの愛が、お互の間に増し加わっているからである。四 そのため、わたしたち自身は、あなたがたがいま受けているあらゆる迫害と患難とのただ中で示している忍耐と信仰とにつき、神の諸教会に対してあなたがたを誇としてゐる。五 これは、あなたがたを、神の国にふさわしい者にしようとする神のさばきが正しいことを、証拠だてるものである。その神の国のために、あなたがたも苦しんでいるのである。六 すなわち、あなたがたを悩ます者には患難をもって報い、悩まされているあなたがたには、わたしたちと共に、休息をもつて報いて下さるのが、神にとって正しいことだからである。七 それは、主イエスが炎の中で力ある天使たちを率

いて天から現れる時に実現する。八 その時、主は神を認めない者たちや、わたしたちの主イエスの福音に聞き従わない者たちに報復し、九 そして、彼らは主のみ顔とその力の栄光から退けられて、永遠の滅びに至る刑罰を受けるであらう。一〇 その日に、イエスは下ってこられ、聖徒たちの中であがめられ、すべて信じる者たちの間で驚嘆されるであらう——わたしたちのこのあかしは、あなたがたによつて信じられてゐるのである。二 このためにまた、わたしたちは、わたしたちの神があなたがたを召しにかなう者となし、善に対するあらゆる願いと信仰の働きとを力強く満たして下さるやうにと、あなたがたのために絶えず祈っている。三 それは、わたしたちの神と主イエス・キリストとの恵みによつて、わたしたちの主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあつて栄光を受けるためである。

第二章 さて兄弟たちよ。わたしたちの主

イエス・キリストの来臨と、わたしたちがみもとに集められることについて、あなたがたにお願いすることがある。二 霊により、あるいは言葉により、あるいはわたしたちから出たという手紙によつて、主の日はすでにきたとふれまわる者があつても、すぐさま心を動かされたり、あわてたりしてはいけない。三 だれがどんな事をしても、それにだまされてはならない。まず背教のことが起り、不法の者、すなわち、滅びの子が現れるにちがい

ない。四 彼は、すべて神と呼ばれたり拝まれたりするものに反抗して立ち上がり、自ら神の宮に座して、自分は神だと宣言する。五 わたしがまだあなたがたの所にいた時、これらの事をくり返して言ったのを思い出さないのか。六 そして、あなたがたが知っているとおり、彼が自分に定められた時になってから現れるように、いま彼を阻止しているものがある。七 不法の秘密の力が、すでに働いているのである。ただそれは、いま阻止している者が取り除かれる時までのことである。八 その時になると、不法の者が現れる。この者を、主イエスは口の息をもつて殺し、来臨の輝きによって滅ぼすであろう。九 不法の者が来るのは、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力と、しるしと、不思議と、一〇また、あらゆる不義の惑わしとを、滅ぶべき者どもに對して行うためである。彼らが滅びるのは、自分らの救となるべき真理に對する愛を受けいれなかった報いである。二そこで神は、彼らが偽りを信じるように、迷わす力を送り、三こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばくのである。

三しかし、主に愛されている兄弟たちよ。わたしたちはいつもあなたがたのことを、神に感謝せずにはおられない。それは、神があなたがたを初めから選んで、御霊によるきよめと、真理に對する信仰とによって、救を得させようとし、一四そのために、わたしたちの福音により

あなたがたを召して、わたしたちの主イエス・キリストの栄光にあずからせて下さるからである。一五そこで、兄弟たちよ。堅く立って、わたしたちの言葉や手紙で教えられた言伝えを、しっかりと守り続けなさい。

一六どうか、わたしたちの主イエス・キリストご自身と、わたしたちを愛し、恵みをもって永遠の慰めと確かな望みとを賜わるわたしたちの父なる神とが、一七あなたがたの心を励まし、あなたがたを強めて、すべての良いわざを行い、正しい言葉を語る者として下さるように。

第三章 最後に、兄弟たちよ。わたしたちの

ために祈ってほしい。どうか主の言葉が、あなたがたの所と同じように、ここでも早く広まり、また、あがめられるように。二また、どうか、わたしたちが不都合な悪人から救われるように。事実、すべての人が信仰を持っているわけではない。三しかし、主は眞実な方であるから、あなたがたを強め、悪しき者から守って下さるであらう。四 わたしたちが命じる事を、あなたがたは現に実行しており、また、実行するであらうと、わたしたちは、主にあって確信している。五どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせて下さるように。

六兄弟たちよ。主イエス・キリストの名によってあなたがたに命じる。怠惰な生活をして、わたしたちから受けた言伝えに従わないすべての兄弟たちから、遠ざかり

なさい。わたしは、どうならうべきであるかは、あなたがた自身が知っているはずである。あなたがたの所にいた時には、わたしは怠惰な生活をしなかったし、人からパンをもらって食べることもしなかった。それどころか、あなたがたのだれにも負担をかけまいと、日夜、労苦し努力して働き続けた。それは、わたしにその権利がないからではなく、ただわたしにあなたが見習うように、身をもって模範を示したのである。「また、あなたがたの所にいた時に、「働こうとしない者は、食べることもしてはならない」と命じておいた。二ところが、聞くところによると、あなたがたのうちのある者は怠惰な生活を送り、働かないで、ただいたずらに動きまわっていることである。「三こうした人に対しては、静かに働いて自分で得たパンを食べるよ

うに、主イエス・キリストによって命じまた勧める。三兄弟たちよ。あなたがたは、たゆまずに良い働きをなさい。「四もしこの手紙にしろしたわたしたちの言葉に聞き従わない人があれば、そのような人には注意をして、交際しないがよい。彼が自ら恥じるようになるためである。「五しかし、彼を敵のように思わないで、兄弟として訓戒しなさい。「六どうか、平和の主ご自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平和を与えて下さるように。主があなたがた一同と共におられるように。

七ここでパウロ自身が、手ずからあいさつを書く。これは、わたしのどの手紙にも書く印である。わたしはこのように書く。「八どうか、わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

三 章

一 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

二 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

三 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

四 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

五 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

六 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

七 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

八 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

九 兄弟たちよ、あなたがたは、主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。